



博物館・美術館等と学校が連携・協働した好事例を配信する教員のためのニュースレター

埼玉県立さきたま史跡の博物館の授業での活用

埼玉県立さきたま史跡の博物館には、社会科の古墳時代の学習資料の1つとして教科書に掲載されている「金錯銘鉄剣」の実物が展示されています。教科書の資料の実物を見られる機会は多くはありませんので、是非とも子供たちに見せてあげたい資料の一つです。その他にもさきたま史跡の博物館の周辺には8基の前方後円墳と1基の大型円墳があります。一部の古墳は一般の利用者も登れるように開放されていますので、古墳時代にどのようにして築かれたのかを子供たちに考えさせるには絶好の資料となるでしょう。

このように古墳時代等の資料が豊富にあるさきたま史跡の博物館を授業で活用するには、どのような方法があるのでしょうか。

1. 社会科見学

金錯銘鉄剣以外にも古墳から出土した遺物を実際に見たり古墳に登ったりして、今から1500年も前にどのような人物が現在の埼玉県行田市周辺にいたのか、その人物はどのような力をもっていたのかなど、当時の様子を考える活動ができます。または、埼玉古墳群という特別史跡をどのように保存や活用しているのかなど文化財保護に関する学びもできるでしょう。隣接するさきたま古墳公園には駐車場（大型車33台、普通車295台、障害者用8台）が整備されており、広大な芝生広場やレストハウスが利用可能で、昼食場所としても多くの学校に利用されています。

2. 出張授業

地域限定ではありますが、古墳時代について学芸員と博物館に勤務する教員が学校を訪問して行う授業も効果があります。金錯銘鉄剣や埴輪のレプリカと学芸員による専門的な解説を教員籍職員が子供たちの様子に合わせて進行します。Web会議システムを活用したオンライン授業にも対応していますので、学校で専門家の解説を聞くこともできます。

3. デジタル資料

埼玉古墳群の出土品の画像や動画等を一人一台端末やワークシート等で提示する活用方法もあります。画像等で紹介している遺物は、さきたま史跡の博物館で展示されています。授業で取り上げた資料を土日や長期休業日に子供たちに家族等で見学できるよう情報提供することで学習内容をさらに深め、さらに学び方を学ぶこともできます。画像等は下記URLまたは二次元コードから御確認下さい。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2216/kodomo-power-up/sakitama-digital-shiryo.html>



埼玉県教育局市町村支援部文化資源課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL 048-830-6912 FAX 048-830-4965

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2216/hakugakurenkei02.html>



子供パワーアップ事業

はくぶつかん×がっこう
令和4年12月発行 6号

検索

博物館
学校

彩の国 埼玉県

埼玉県マスコット
さいたまっち・コバトン

